



Question

シルクスクリーン製版の
デジタル化を実現した「ゴッコプロ」。
従来の乳剤版の工程との違いは？

| 特集3 |

シルクスクリーン 印刷に革新を

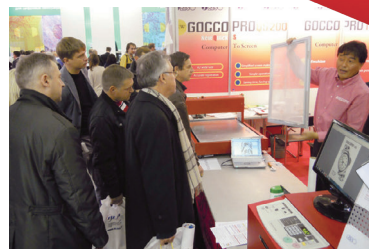


Answer

排水が生じないクリーンな
プロセスを実現するとともに、
簡単、スピーディーな製版を実現しました。

海外でも好評を得ている「ゴッコプロ」

2014年2月に発売した「GOCCOPRO QS200」を、海外4カ国の展示会に出展しました。製版可能領域が広く多色刷りの位置精度が向上した新製品は、海外のスクリーン印刷業者の皆様から、「手軽に製版でき、環境面でも素晴らしい」との評価をいただきました。



海外の展示会での様子



水を使用しない 「完全ドライ製版方式」が メリットをもたらします。

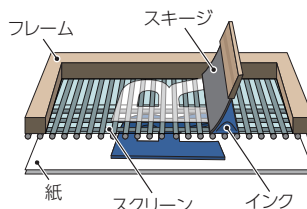
「ゴッコプロシリーズ」は、乳剤を使用しないため、洗浄の工程がなく排水が生じません。その上、コンパクトで、スピーディーな製版を実現しました。露光や乾燥などの工程が不要なので製版プロセスを大幅に短縮できます。



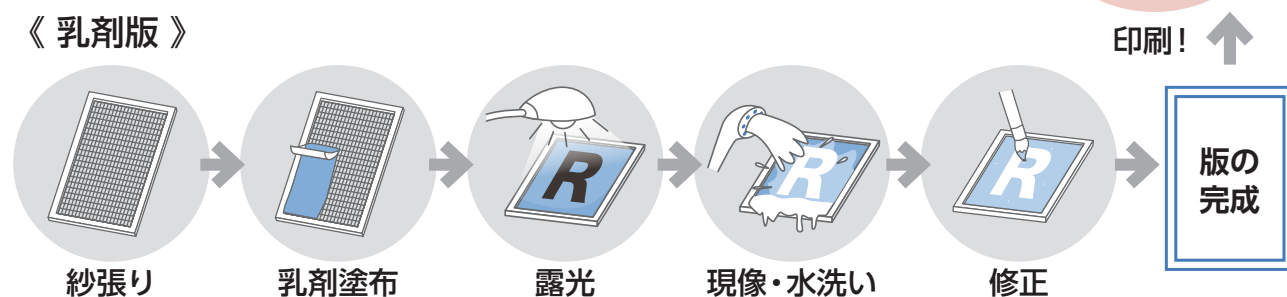
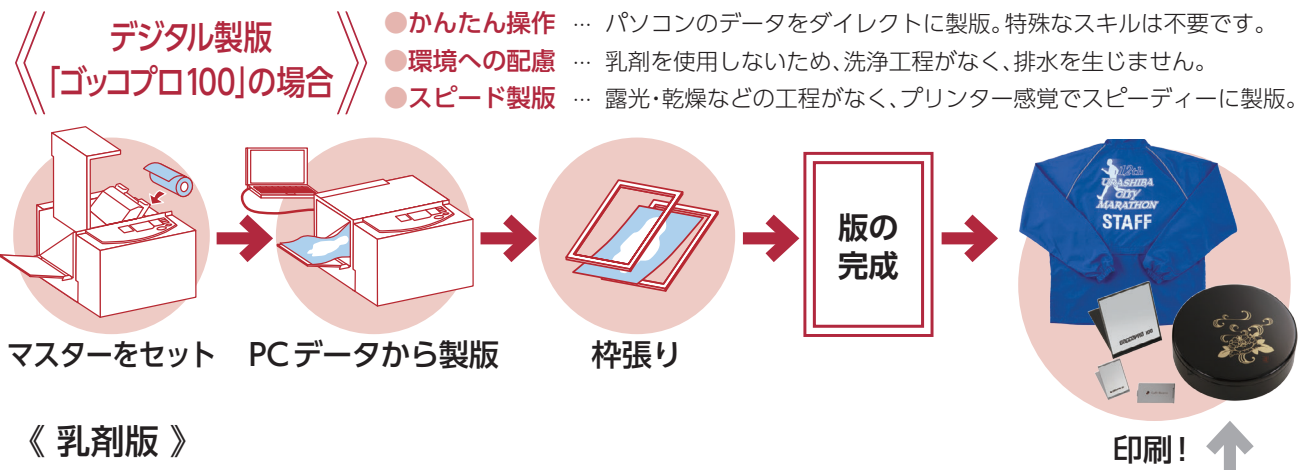
「シルクスクリーン印刷」とは？

素材を問わず印刷できます。

シルクスクリーン印刷は孔版印刷の一つで、スクリーン上に、インクが通過する穴(孔)をあけ、その孔からインクを押し出して印刷する技法です。紙はもちろんガラス・プラスチック・合成樹脂・金属・布・ビニールなどさまざまな素材に印刷できます。



デジタル製版と乳剤版の製版プロセスの違い



TOPICS

お客様とのコミュニケーションスペース——[RISO STUDIO]

お客様に「ゴッコプロ」を使ったシルクスクリーン印刷を体験いただく、ワークショップを定期的開催。オリジナルデザインの商品を手軽につくれる楽しさを体感していただいています。



Webサイトでワークショップをご案内しています！
<http://www.riso.co.jp/ps/>